

# 型試合規約 (国際空手道連盟ルール・第6回全日本選抜大会用)

1. 審判基準 審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定はすべて審判長の裁可による。旗判定は5名の審判員(又は3人制の場合は3名の審判員)がどちらか一方の旗を揚げて行う。引分は無い。主審のみの判断は認めない。但し、5名(又は3名)の審判員はそれぞれに意義を申し立て協議する権利を有する。

2. 試合の区分 個人戦と団体戦を設ける。団体戦のチーム構成は3名とする。

3. 試合の階級 【個人戦】

階級	予選・規定型	決勝戦・選択型
小学1・2年生(男女混合)	平安二	平安二・安三
小学3・4年生(男女混合)	平安三	平安二・平安三
小学5・6年生(男女混合)	平安四	平安四・突きの型
中学生男子	平安五	平安五・突きの型
中学生女子	平安五	平安五・突きの型
一般女子(高校生以上)	突きの型	突きの型・最破
壮年男子(36歳以上)	突きの型	突きの型・最破
一般男子(高校以上36歳未満)	突きの型	突きの型・最破

【団体戦・1チーム3名】

階級	規定型
小学生チーム	安三
一般チーム(中学生以上)	撃砕小

4. 試合の方法 【個人戦】

- 予選は、各階級の規定型を一人ずつ単独で行う。審判員5名の内主審が、全体の評価(加点方式)を付け、副審4名(又は2名)が基本項目の評価(減点方式)を付け、総合評価点を算出する。総合評価点が同点の場合は、全体の評価ポイントが高い選手を上位とする。
- 総合評価点の上位4名を発表し、決勝戦のみ行う。(3位2名)
- 決勝戦は、各階級の選択型の中から選手が選定し、1人ずつ単独で行う。勝者は全体評価基準により、5名(又は3名)の審判員による旗判定で決まる。引分は無い。

【団体戦】

団体戦はチームの構成員が全員同時に演技する形式で行う。全体評価6項目(各5点満点)基準で5名(または3名)の審判員により採点し、上位4チームを決定する。

5. 着衣 選手は清潔な空手着を着用しゼッケンがある場合は背中中央に貼り付けること。

6. 評価基準/採点方法

- 全体の評価(加点方式) 下記5項目(団体戦は6項目)の観点から順位を決定する。但し、小学生の部は(注1)の項目の代わりに「動作の機敏性」を、女子は(注2)の代わりに「優美性・表現力」をみる。

①身体全体を使った雄大さ	②柔軟性・技の連動性	③技の緩急・切れ(注1)	④下半身の安定感
⑤力強さ・気迫・気合(注2)	⑥(団体戦)協調性	(小学生)動作の機敏性	(女子)優美性・表現力

全体の評価による獲得ポイント

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位以下
30 point	28 point	26 point	24 point	22 point	20 point	18 point

- 基本項目の評価(減点方式) ※個人戦のみ

下記項目におけるケアレスミスは-1、大きなミスや複数回続いたミスは-2の減点が与えられる。

区分	評価項目	減点	備考
技を極める瞬間	手技の正確性	0/-1/-2	正拳/裏拳/手刀等手技の正確性・決め位置・引き手・脇の締め・予備動作(無駄な動き)の有無
技を極める瞬間	足技の正確性	0/-1/-2	足刀/中足/背足等足技の正確性・軌道・決め位置・蹴り足の着地時のコントロール(音を立てない)
技を極める瞬間	立ち方/安定性	0/-1/-2	前屈/後屈/騎馬等立ち方の正確性・足先の角度・正確な方向・バランスを崩していないか(上体の反り・前傾・重心の位置)
移動時	上半身の安定性	0/-1/-2	直進・後退・回転時の上体の上下左右のぶれ(上体の反り・前傾)
移動時	下半身の安定性	0/-1/-2	直進・後退・回転時の下半身の上下左右のぶれ(予備動作含む)無駄な動き(スキップの様に前進するなど)の有無 ※予備動作は小学生に適用しない
移動時	型の正確性	0/-1/-2	演武線(移動方向)・型の順番間違えは減点※「その他」条項①参照

※静止状態で2秒以上経過した場合、技の順番を見失ったとみなし、移動時の型の正確性の評価項目で、1回につき減点1とする。但し、「平安三」の結び立ちから前蹴りを出し騎馬立ちに移動する箇所はこの限りではない。

7. 失格 ①審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされたとき。判定時の「雄叫び」「ガッツポーズ」等礼節を欠いた態度を取った場合失格となります。②出場時刻に遅れたり、出場しないとき。

③申告した型と異なる型を演技したとき。演技を途中で中断したとき。演技中に試合場外に出たとき。

8. その他

①道場・流派・会派による細部動作等の相違や気合の箇所の相違は評価基準の対象としません。

②個人戦の決勝戦は選択型による試合となりますが、選択した型の難易度ではなく、演じた内容の熟達度で評価します。

③判定に対する抗議は一切認めません。